

# 埼玉 GPN NEWS

Saitama Green Purchasing Network  
埼玉グリーン購入ネットワークニュース

第 35 号 2026 年 3 月

～環境への負荷が少ない商品・サービスの優先購入を進める  
首都圏初の地域ネットワーク～

埼玉GPN NEWS 2026.3



さいたま商工会議所 会頭 川本 武彦氏

## さいたま商工会議所 会頭 川本 武彦氏

今回は、埼玉グリーン購入ネットワーク設立時から会員として長年にわたりご参画いただき、また多大なるご支援をいただいています、さいたま商工会議所 新会頭 川本 武彦様にお話を伺いました。

さいたま商工会議所は、商工会議所法の規定に基づく法人であり、地域の総合経済団体として、地域の商工業者によって組織・運営されています。



**星野会長：**本日はお忙しいところお時間を割いて頂きありがとうございます。それでは早速ですが、会頭として貴会議所のご紹介をお願いできないでしょうか。

**川本会頭：**主な役割としては、地域の社会的経済的な諸問題を皆で協議・相談して取り組み、必要に応じてその意見を国や県・市、あるいは関係機関等へ「政策

提言」、中小企業の成長を後押しする「中小企業の活力強化」、地域力の再生を推進する「地域経済の活性化」があります。現在約 12,000 事業所に会員としてご入会いただいています。

2026 年度は、第 6 次中期ビジョンの最終年度として、「会員の自己変革を強力にアシスト」、「地域の活力向上を強力にアシスト」、「会議所の自己変革力をアップ」の 3 つの基本方針に則り、中小企業の成長と地域経済の好循環の実現に向け様々な事業を進めていく予定です。

**星野会長：**貴会議所では中小企業支援として様々な取組を行っていらっしゃいますが、特に SDGs や環境面での取組をご紹介いただけますか。

**川本会頭：**SDGs やカーボンニュートラルの目標達成に向けた取組の支援として、いくつか事業をご紹介したいと思います。

まず、中小企業向けの省エネ診断により、省エネの取組支援を行っています。

「エネルギー・コストは削減したいが、何をすれば良いかわからない」「省エネに取り組みたいが、どうしたら良いかわからない」等のお悩みを解決するため、会員サービスとして無料の「省エネ診断」を実施しています。

省エネ診断では、診断のお申し込みをいただいた企業様に当会議所から専門家を派遣し、個々の事業活動の状況に応じた省エネ診断を行います。無駄なエネルギー使用の発生源であるボトルネックを明らかにして「省エネ診断報告書」にまとめ、今後の取組や改善策を

## CONTENTS

- トップインタビュー さいたま商工会議所 会頭 川本 武彦氏 ..... 1
- 「埼玉 GPN 見学会 2025」工場見学・造幣さいたま博物館とさいたま地域冷暖房センターを見学しました！ ..... 2
- オンラインミニセミナーを開催しました！ ..... 3
- グリーン購入ネットワーク 30 周年記念 ..... 3
- 【新会員のご紹介】 株式会社ナチュラファーム ..... 4

ご提案するほか、受診企業のご要望に応じて診断結果の報告会も実施しています。

また、提案に基づき企業側が補助金を活用した設備導入を検討される場合には、当会議所が「伴走型支援」の一環として、補助金申請支援などのサポートを行っています。

**星野会長：**会員企業への省エネ診断サービスは、中小企業にとってエネルギー使用量の削減を始めとし経費削減や業務の効率化にもつながりますね。カーボンニュートラルへの取組はまず省エネ診断を受診することをお勧めします。

**川本会頭：**次に、「CO<sub>2</sub>チェックシート」活用によるカーボンニュートラルへの促進支援を行っています。昨今のエネルギー価格の高騰のほか、2028年度には炭素賦課金が導入されるなど、2050年のカーボンニュートラル実現に向け、中小企業にも温室効果ガス削減の取組が求められています。中小企業の脱炭素・省エネに向けた「知る・測る・減らす」の3つのステップの1つである、「測る」をサポートするツールとして、日本商工会議所が無料で配布しています「CO<sub>2</sub>チェックシート」の活用を促しています。

「CO<sub>2</sub>チェックシート」は、電力使用量やガス使用量を入力するとCO<sub>2</sub>量が自動で算出できるため「見える化」ができ、省エネ設備導入による削減効果のシミュレーションにもご利用いただいています。

**星野会長：**「見える化」はエネルギー使用量のセルフチェック機能で重要です。ぜひ、多くの企業に取り組んでもらいたいと思います。

**川本会頭：**最後に環境への知識・意識向上のために、eco検定(環境社会検定試験)の受験を促しています。東京商工会議所が主催するeco検定は、環境問題を幅広く体系的に身に付けられる「環境教育の入門編」として様々な業種・職種の方にご活用いただいております。当会議所でも受験をお勧めしています。



SDGsは気候変動や自然環境等、環境問題と深い関わりあいを持っているため、eco検定は中小企業にとっても環境問題を通じてSDGsを理解するツールとして大いに役立ちます。また、eco検定には商工会議所会員事業所の割引制度もございますので、会員の皆様に

は是非、積極的に資格取得に取り組んでいただきたいと思います。

**星野会長：**お話をお聞きし、さいたま商工会議所として会員様へ様々な環境への取組を支援されていることが良く分かりました。カーボンニュートラルを目指し、会員と一緒にさらなる取組を推進されることを期待したいと思います。

**川本会頭：**「地域の総合経済コーディネーター」として会員事業所の皆様に「会議所に入って良かった」と言ってもらえるよう、今後も経営支援に努めてまいります。企業の事業活動が環境負荷軽減への取組と無関係ではいられないことを踏まえ、中小企業のSDGsやカーボンニュートラルへの取組も協力にアシストしてまいります。

**「埼玉GPN見学会2025」  
工場見学・造幣さいたま博物館と  
さいたま地域冷暖房センターを  
見学しました!**

12月16日(火)、15名の参加を得て、さいたま新都心駅の周辺にある施設2か所を見学しました。最初に訪れた造幣局さいたま支局は全国3か所ある造幣局の1つとして、平成28年に現在地であるさいたま市に移転してきました。埼玉支局では、主に収集用の美しいブルー貨幣や勲章を製造しており、高度な職人技を見ることができます。今回は工場内をガイドツアーの説明を聞きながらガラス越しに見学し、特に勲章製造工程では細工の細かさや卓越した技術等を見ることができました。併設の博物館では、記念貨幣のほか、勲章、オリンピック入賞メダルなど貴重な史料が展示されており、貨幣の歴史等を学習することができます。



次に、さいたま新都心のビル群にエネルギーを供給している地域冷暖房センターを、会員で



ある東京ガスさいたま支社様から概要説明と現場を案内頂きながら見学しました。さいたま地域冷暖房センターは2000年の街びらきと共に稼働、27万㎡にも及ぶエリアへ都市ガスを燃料とした冷水・蒸気を供給しています。一方、ガスコージェネレーションシステム(CGS)による発電電力でプラントを稼働するとともに、余剰電力で売電事業も展開しています。さらに2019年度には7,800kWのCGSを導入するなど、リニューアル工事を完了し、環境負荷低減とレジリエンス強化を実現しています。結果、さいたま地域冷暖房センターは1年間で排出されるCO<sub>2</sub>の約25%、およそ5,600tを削減できる見通しとなっています。



私たちの身近な地域で、このような熱供給システムが実際に稼働していることを知り、その施設の巨大さとシステム力に驚きました。エネルギーをエリア一体に供給するシステムを実現することで、カーボンニュートラルに寄与する新しい街が作られるのを実感しました。

### オンラインミニセミナーを開催しました!

誰もが容易に参加でき短時間で事例を学べることができるようにと、埼玉GPNでは毎年度2回オンラインミニセミナーを開催しています。

第1回目は、～食品関連事業者によるサーキュラーエコノミーの取組～と題し、10月29日(水)に開催し、全国から33名の方に参加いただきました。事例発表は、株式会社ティービーエム“ブラウングリーンのアップサイクルによる廃棄物削減・脱炭素を超えた地域貢献・社会貢献”、ASTRA FOOD PLAN株式会社“新技術によるサステナブルで循環型のフードサイクルへの挑戦”、株式会社ジャパンモスファクトリー“苔で地球環境を守る その技術とビジネス”と3社から取組をご紹介いただきました。

第2回目は、～サーキュラーエコノミーを加速する水平リサイクル・アップサイクルの取組～と題し、3月11日(水)に開催し、30名の方に参加いただきました。令和7年度グリーン購入大賞◇大賞(農林水産特別部門)を受賞され、会員になっていただいた、株式会社

カインズ“店舗をハブにした園芸用土の水平リサイクルシステムの構築(店舗で回収・再生品販売)”、日榮新化株式会社(NEION)“ラベル台紙の水平リサイクル事業「資源循環プロジェクト」”、東武商事株式会社“使用済みプラスチック容器のアップサイクル”と3社から取組をご紹介いたしました。

合計6社の事例を年間とおしてご紹介することができましたが、今後も主に県内でカーボンニュートラルやサーキュラーエコノミーに取り組まれている先進的な事例を取り上げ、ご紹介していきたいと考えています。ぜひ、セミナーにご参加ください。



### グリーン購入ネットワーク30周年記念

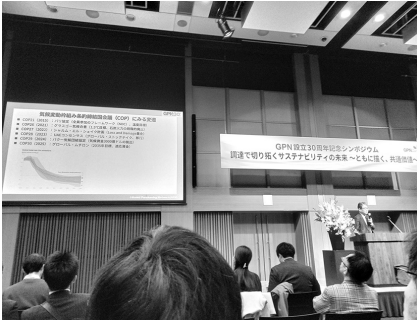
全国組織である、グリーン購入ネットワーク(GPN)は1996年2月に設立し今年30周年を迎えました。30年前の発足当時73団体だった会員は、現在約1,300団体(企業、行政、民間団体)となり、各々の事業活動や暮らしの中で積極的にグリーン購入に取り組んでいます。

設立30年の節目を迎え、2月10日にJPタワーホール&カンファレンスでGPN設立30周年記念シンポジウム「調達(消費と生産)で切り拓くサステナビリティの未来～ともに描く、共通価値～」と交流会を開催し、多くの方に参加いただきました。



当日は、「一歩進んだサステナビリティの実現へ～変容する課題、変革する行動～」と題し政策研究大学院大学教授 竹ヶ原 啓介氏による基調講演、パネルディスカッション等、30周年の記念に相応しい内容となりました。

現在30周年を記念し、ネットワーク全体で「新規入会 年会費無料キャンペーン」を実施しています。キャンペーン期間(2026年1月1日から2027年3月31日まで)に新規入会の団体を対象に、2025年度・2026年度の年会費を無料といたします。(入会金のお支払い



は必要となります)入会をご検討の方は、この機会にぜひご参加下さい。

パリ協定の発効やSDGs採択から10年、環境問題の深刻化や社会課題の顕在化に伴い、企業や団体に求められるサステナビリティは深化し続けています。課題解決手法の一つとして「調達」のあり方に注目が集まる中、GPNの取組に期待が寄せられています。次の10年を見据えた、もう一歩先のサステナビリティ、産官学民による協働と共創による相乗効果を紡ぎだしてGX社会へ貢献していきたく思います。

## 【新会員のご紹介】 株式会社ナチュラファーム

当社は創業から100年以上を経て、2021年にこれからの養鶏の未来に向けて、株式会社ナチュラファームとして新たに生まれ変わりました。

『自らつくり、自ら育て、自らお届けする』をモットーに、初生雛から健康に育てる『自家育雛育成』、厳選した飼料原料を仕入れて製造する『自家配合飼料』、農場に直結したパッキング工場で製品をつくる『GPセンター』を強みとしています。そして、科学的根拠を用いた衛生管理手法『農場 HACCP 認証』と『GPセンター HACCP 認証』、食の安全や環境保全に取り組む農場に与えられる『JGAP 家畜・畜産物認証』を国内で初めて全て取得した採卵養鶏場です。

2025年度のグリーン購入大賞優秀賞(農林水産特別部門)受賞を切っ掛けとして、グリーン購入ネットワークに会員として参加しました。

アニマルウェルフェアとは、日本語で「動物福祉」と訳され、動物が精神的・肉体的に十分に健康的で幸福



な状態で生きられることを目指す考え方のことです。鶏には、「羽根を大きく広げたい!」「砂浴びをしたい!」「ついでに

たい!」「落ち着く場所で産卵したい!」などの鶏本来の行動欲求がありますが、バタリーケージ飼育では全ての行動欲求を満たすことができません。これを解決するには、一般的な「平飼い飼育」がありますが、卵を産む場所や、糞をするタイミングも自由なため、産み落とされた卵や鶏体が、糞と接触するリスクが高まり、鶏の健康や鶏卵の衛生管理に大きな影響を及ぼす可能性があります。



そこでナチュラファームでは、欧米で採卵鶏のケージフリー飼育の主流となっていたエイビアリーシステムを2006年に導入、鶏が自然な態勢で休める休息エリア、いつでも新鮮な水と飼料が与えられる給餌給水エリア、落ち着いた自然な状態で産卵する産卵エリア、砂浴び行動ができる運動エリアなど、広い空間を自由気ままに動き回ることによって、活発で健康的な鶏が卵を産み、衛生的な鶏卵の取り扱いを実践しています。

これからも、採卵鶏のケージフリーにおける先進的なアニマルウェルフェアを実践することで、鶏卵の「持続可能な調達」拡大を目指します。たまごの美味しさに欠かすことのできない鶏卵の安全と安心を追及することで、幼児、高齢者、病人にも安心して食せる日本の卵を国内外の卵好きの皆様にご提供いたします。

### ■ 入会案内

団体会員、サポーター(個人会員)があります。申込書はHPからもダウンロードできます。ぜひ一緒にグリーン購入を。



### ■ 発行：埼玉グリーン購入ネットワーク

【事務局】〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和5-6-5-3F  
TEL.048-749-1217/FAX.048-749-1218  
Home Page <http://www.saitamagpn.jp/>

このニュースレターは、GPN-GL14「印刷サービス」発注ガイドラインに基づき作成しています。

